

角磐山 大山寺



修験道の道場として栄え、養老二年（七一八）金蓮上人が地藏菩薩を祀ったのが開山と伝えられている。称徳天皇は、神仏習合の思想から地藏菩薩を「大智明大権現」と勅宣され、貞観八年（八六六）慈覚大師が留錫し、堂舎を建立して台密の法を伝え、引聲阿弥陀經の秘曲を口伝し天台宗の末寺に加わることとなった。室町期には多くの僧兵をかかえ比叡山、吉野山、高野山に劣らないほど隆盛を極めた。慶長年間、豪円僧正が大江山座主となり徳川幕府に願って三千石の地領を得、三塔に支院四十二坊を構えたが、明治維新の神仏分離の政策から衰退、昔日の盛観を見ることは出来ないが、尚、三堂宇に十ヶ寺の支院を有し、貴重な文化遺産も多く保存されている。

角磐山 大山寺

住所／〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山9

電話番号／0859-52-2158